



ミネベア株式会社決算説明会
2004年3月期中間決算

2003(平成15)年 11月14日

代表取締役社長執行役員 山本 次男

2004年3月期中間期業績

(百万円)	----- 2003/3期 -----		2004/3期	伸び率 前年比	上期	
	上期	下期	上期		期初計画	計画比
売上高	137,249	134,953	133,741	-2.6%	136,000	98.3%
営業利益	10,176	9,176	9,467	-7.0%	8,800	107.6%
経常利益	7,667	5,753	7,558	-1.4%	6,300	120.0%
税引前利益	6,817	6,322	6,299	-7.6%	5,600	112.5%
純利益	2,543	4,977	2,726	+7.2%	2,500	109.0%

上期利益は計画を達成

第2四半期業績

(百万円)	2003/3期	--- 2004/3期 ---		2Q 伸び率	
	2Q	1Q	2Q	前年同期比	前四半期比
売上高	64,882	66,489	67,252	+3.7%	+1.1%
営業利益	4,145	4,259	5,208	+25.6%	+22.3%
経常利益	3,143	3,285	4,273	+36.0%	+30.1%
税引前利益	2,614	2,177	4,122	+57.7%	+89.3%
純利益	640	421	2,305	3.6倍	5.5倍

第2四半期は増収増益

中間期セグメント別収益

(百万円)	--- 2003/3期 ---		2004/3期	伸び率 前年 同期比
	上期	下期	上期	
(売上高)				
機械加工品	60,309	57,808	55,665	-7.7%
ベアリング関連製品	50,058	47,880	47,128	-5.9%
その他機械加工品	10,251	9,929	8,538	-16.7%
電子機器	76,940	77,144	78,076	+1.5%
回転機器	38,933	40,255	43,642	+12.1%
その他電子機器	38,005	36,892	34,435	-9.4%
合計	137,249	134,953	133,741	-2.6%
(営業利益)				
機械加工品	9,163	9,356	9,178	+0.2%
電子機器	1,013	181	289	-71.5%
合計	10,176	9,176	9,467	-7.0%

電子機器セグメント
営業利益の計画を
上回る改善により、
上期営業利益 95億円、
計画比 108%

売上高内訳 期初計画

ベアリング関連製品	469.0億円
その他機械加工品	99.5億円
回転機器	453.5億円
その他電子機器	338.0億円

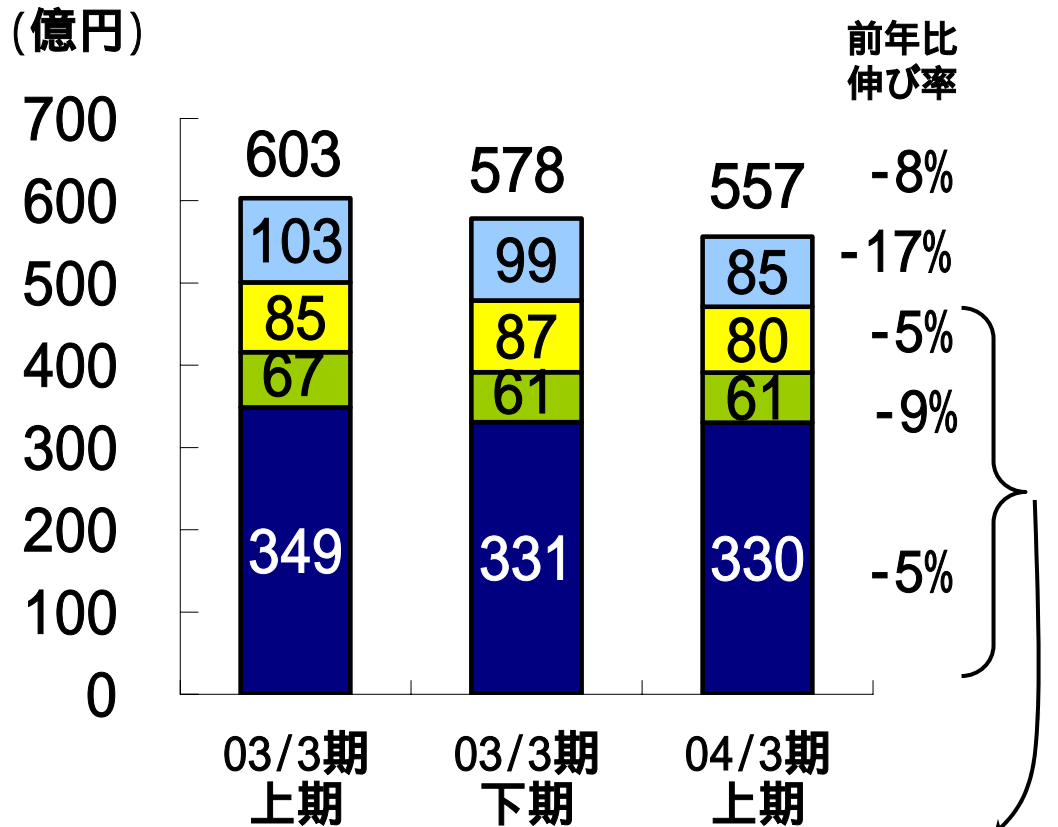
8月7日に営業利益内訳を修正

機械加工品	91	94	億円
電子機器	3	6	億円
合計	88		億円

第2四半期セグメント別収益

(百万円)	----- 2003/3期 -----				--- 2004/3期 ---		2Q 伸び率	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同期比	前四半期比
(売上高)								
機械加工品	31,668	28,641	28,723	29,085	28,606	27,059	-5.5%	-5.4%
ベアリング関連製品	26,420	23,638	23,845	24,035	23,959	23,169	-2.0%	-3.3%
その他機械加工品	5,249	5,002	4,879	5,050	4,646	3,892	-22.2%	-16.2%
電子機器	40,699	36,241	40,000	37,144	37,883	40,193	+10.9%	+6.1%
回転機器	20,793	18,140	20,521	19,734	21,458	22,184	+22.3%	+3.4%
その他電子機器	19,908	18,097	19,480	17,412	16,424	18,011	-0.5%	+9.7%
合計	72,367	64,882	68,723	66,230	66,489	67,252	+3.7%	+1.1%
(営業利益)								
機械加工品	5,098	4,065	4,771	4,585	4,908	4,270	+5.0%	-13.0%
電子機器	933	80	748	929	648	937	11.7倍	-
合計	6,031	4,145	5,519	3,657	4,259	5,208	+25.6%	+22.3%

機械加工品セグメント 売上高



(前年上期との比較)

ボールベアリング:

ミニチュア・小径ボールベアリングの外販数量は増加したが単価が下落。

ロッドエンド&スフェリカルベアリング:

航空業界向けが引き続き低迷。

ピボットアッセンブリー:

販売数量は大幅に増加したが単価が下落。

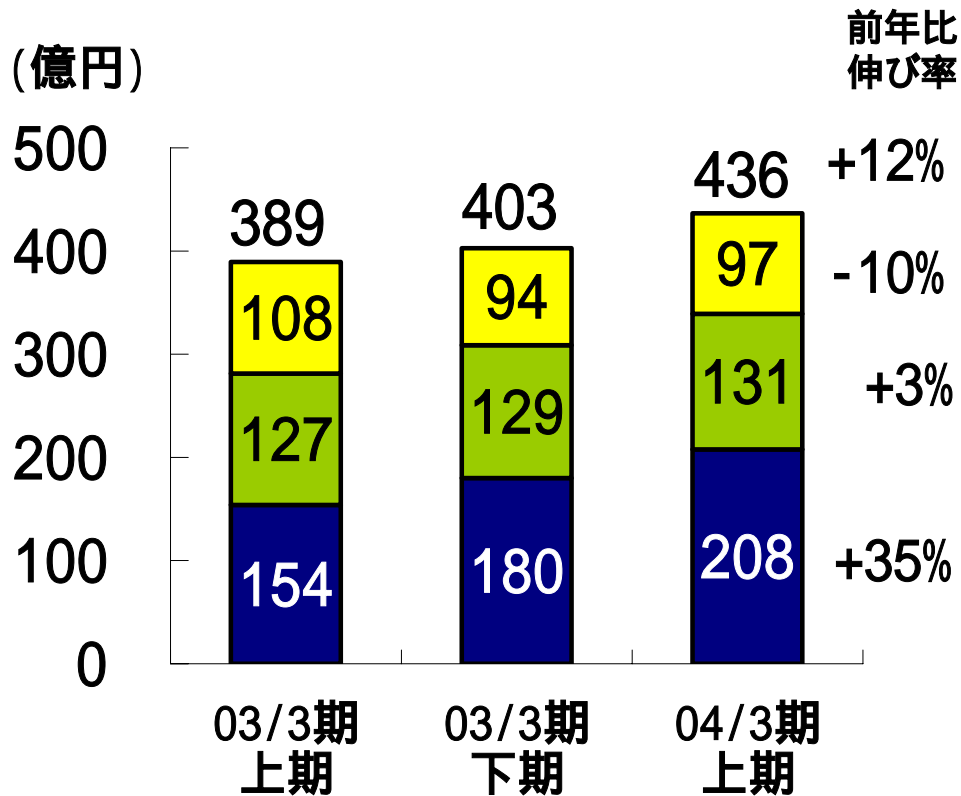
その他機械加工品:

需要低迷によりネジ及び特殊機器の売上が減少。他に、IMC Magnetics Corp. 売却の影響。

ベアリング
関連製品
合計
471億円
-6%

- その他機械加工品
- ピボットアッセンブリー
- ロッドエンド・スフェリカルベアリング
- ボールベアリング

電子機器セグメント 回転機器部門 売上高



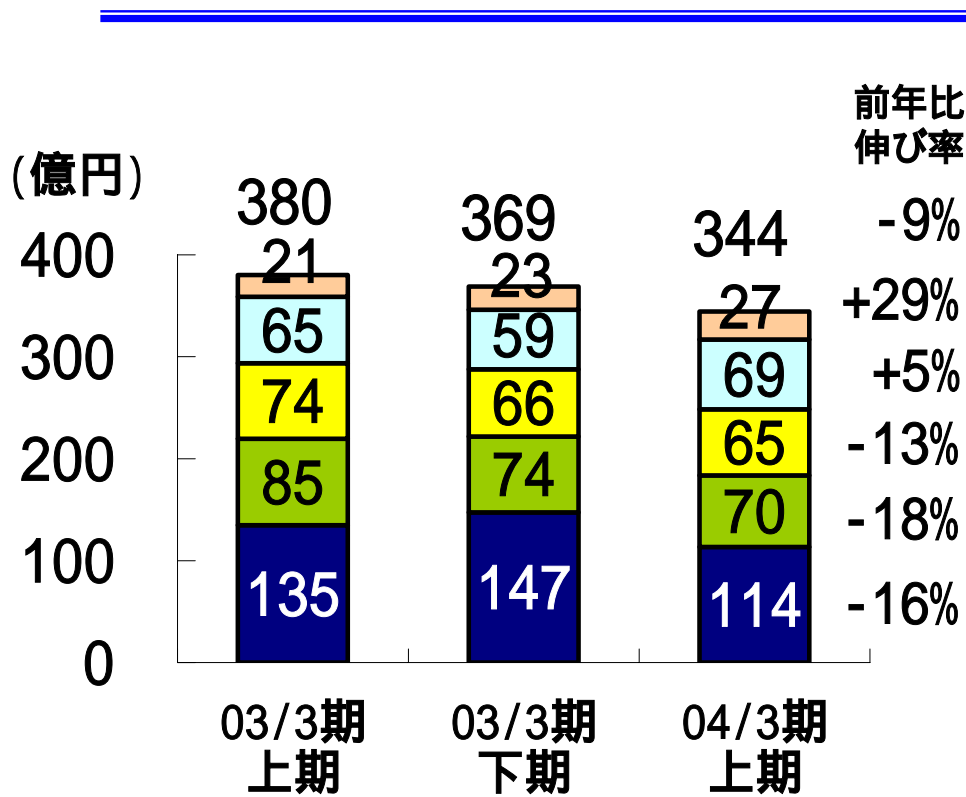
HDDスピンドルモーター:
FDBモーターの販売が大幅増加。

ファンモーター:
数量増加だが、平均単価の下落により売上高は微増。

ステッピングモーター:
第1四半期の光ディスク業界の在庫調整による需要低迷と競争激化の影響。

- ステッピングモーター
- ファンモーター
- HDDスピンドルモーター

電子機器セグメント その他電子機器 売上高



前期事業終了したFDD及び
終了予定の電源等事業の減収を
除くと、3%の減収

キーボード:

客先の在庫調整、SST立ち上げ
遅れに起因するシェア低下。

エレクトロデバイス:

FDDの事業終了による減収。
ライティングデバイスの事業は
急拡大。

パワーエレクトロニクス:

電源事業終了課程に伴う減収。

スピーカー:

PC関連品の需要増。

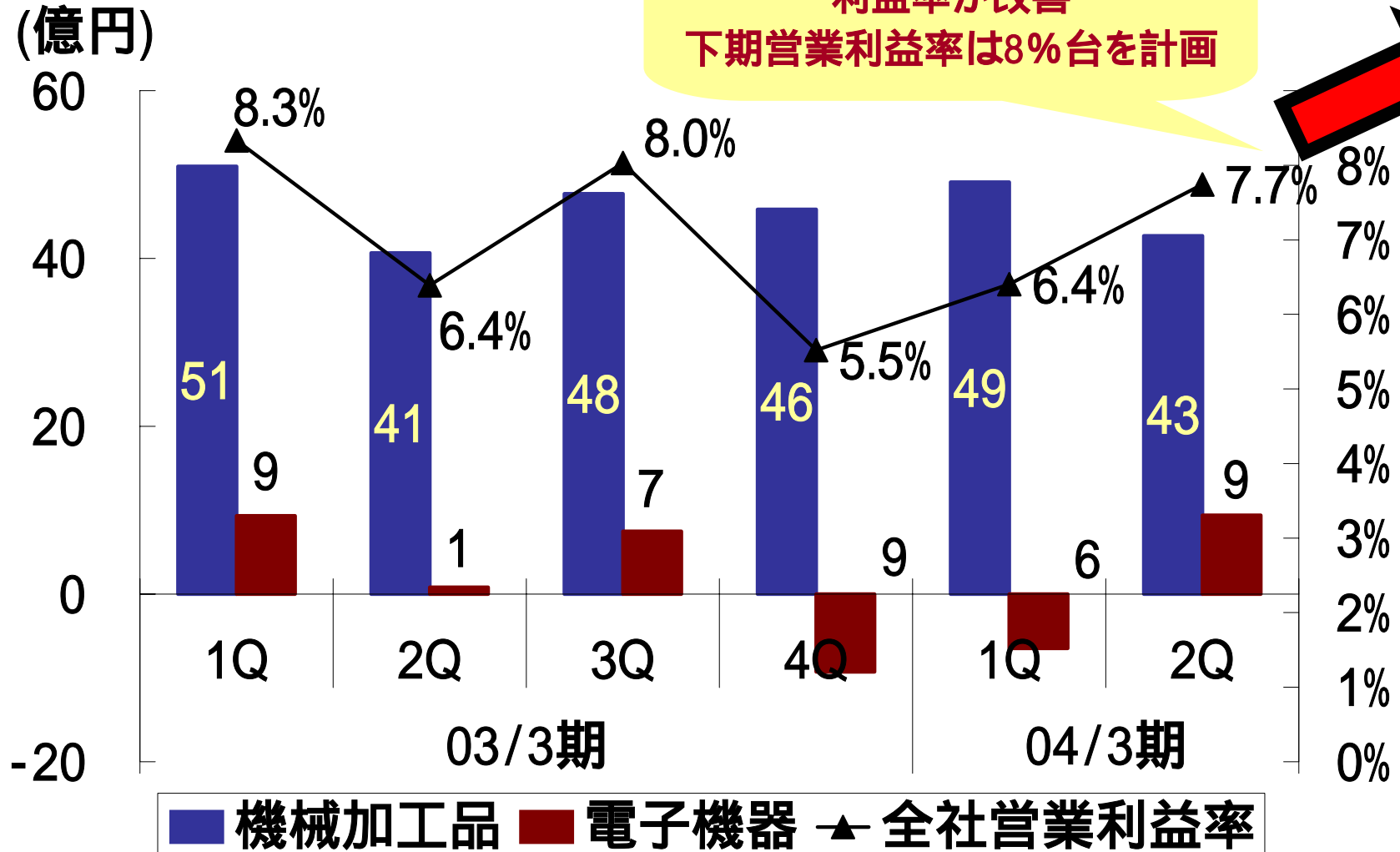
計測機器:

設備投資増に伴う需要増加。

- 計測機器他
- スピーカー
- パワーエレクトロニクス
- エレクトロデバイス
- キーボード

セグメント別営業利益推移

前年度第4四半期を底に
 利益率が改善
 下期営業利益率は8%台を計画



第2四半期 用途別売上高・地域別売上高

2Qは1Qに対し、エアコン向けの減少により家電機器向けが減少
需要回復によりOA機器向け及びPC関連向けが増加

用途別売上高

	自動車	航空・宇宙	家電機器	情報通信機器(OA)	PC及び周辺機器	モータ	その他	合計
売上高比率	7.6%	8.7%	9.8%	10.7%	45.7%	5.6%	12.0%	100.0%
前四半期比伸び率*	+3.4%	-12.4%	-19.8%	+32.1%	+6.3%	+8.5%	-9.3%	+1.1%

* 1Qとの比較

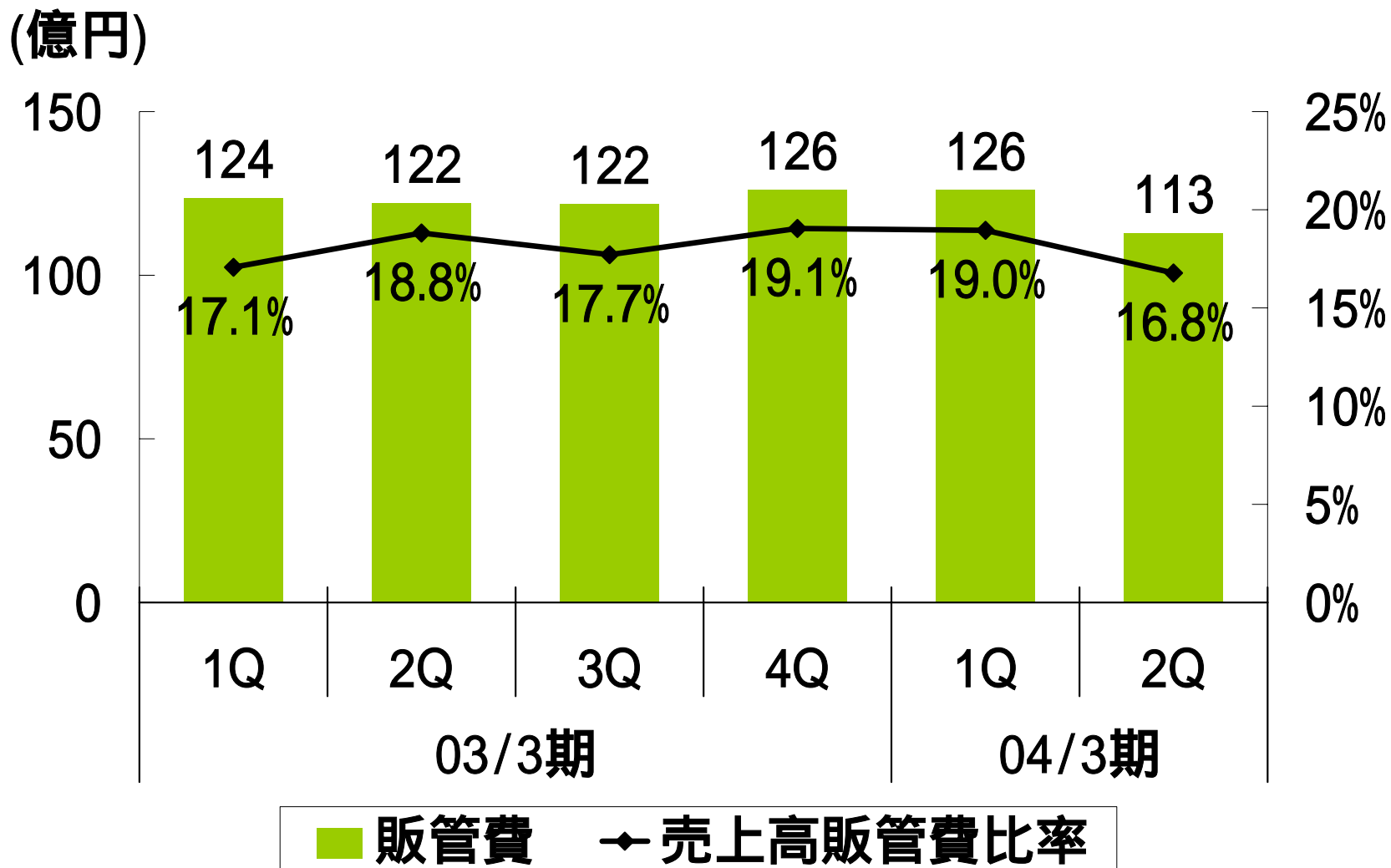
地域別売上高

	日本	アジア (除 日本)	北米	欧州	合計
売上高比率	24.4%	47.0%	17.0%	11.6%	100.0%
前四半期比伸び率*	-0.2%	+4.0%	+0.5%	-5.9%	+1.1%

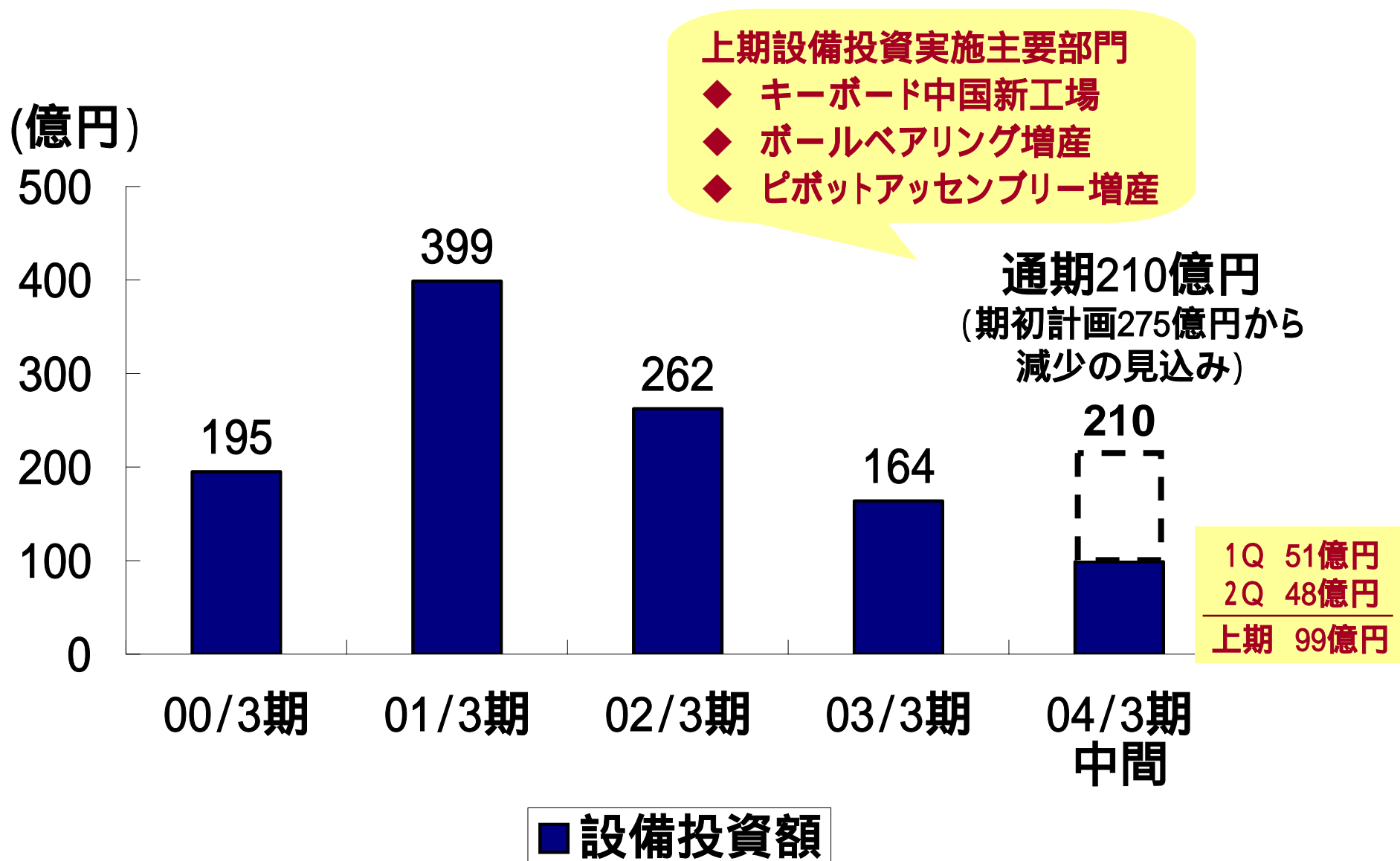
アジア地域の売上が伸長

* 1Qとの比較

販管費推移

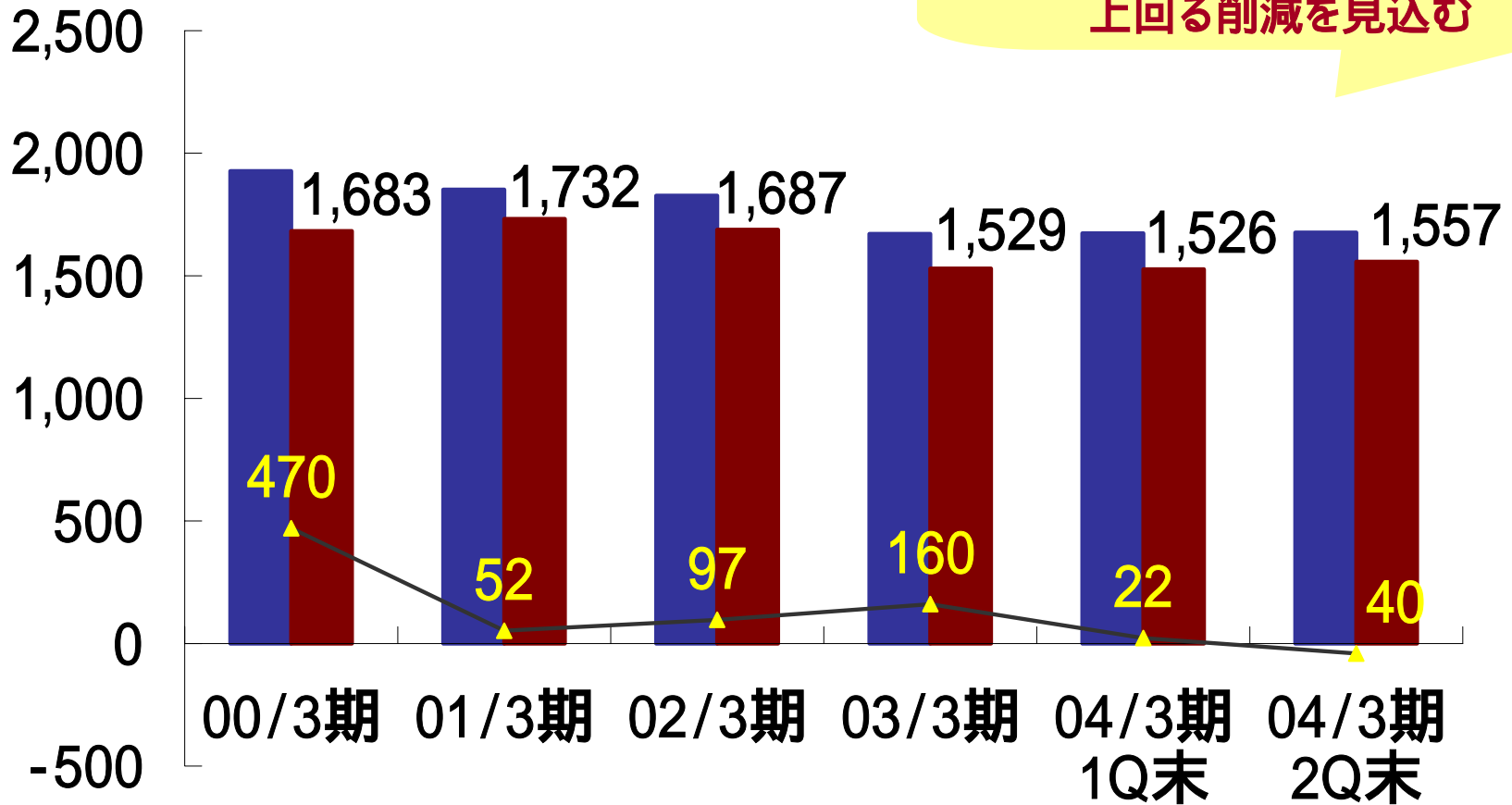


設備投資額推移



有利子負債推移

(億円)



上期は在庫及び売掛金増加
通期は期初計画45億円を
上回る削減を見込む

■ 有利子負債 ■ ネット有利子負債 ▲ キャッシュフロー

情報モーター事業統合

ミネベア

ベアリングタイプ ファンモータ
ハイブリッド・PMタイプ ステッピングモータ

生産技術力

出資比率60%予定

松下電器産業

スリーブタイプ ファンモータ
PMタイプ ステッピングモータ
振動モータ
ブラシ付モータ

商品開発力

2004年4月設立予定

出資比率40%予定

情報モーター統合会社

情報モーター分野で世界NO.1の製品群・技術力・競争力

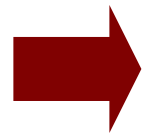
市場

光ディスク (CD-ROM/RW・DVD-ROM/RW) デジタル家電 PC・サーバー 家電
OA (プリンター、PPC、スキャナー、複合機) ゲーム機 AV デジタルカメラ・DVC
携帯電話

キーボード上海新工場量産開始

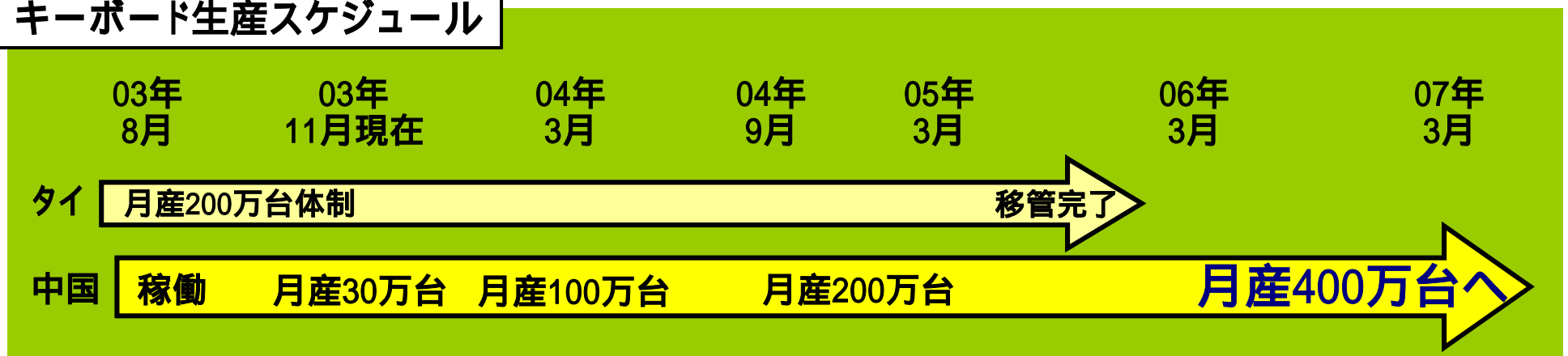
Shanghai Shun Ding Technologies Ltd.

- Huan Hsin Group と設立した合弁会社の中国生産子会社。
- 8月に稼働開始。11月月産30万台予定。
- 今期設備投資予定額は約40億円。

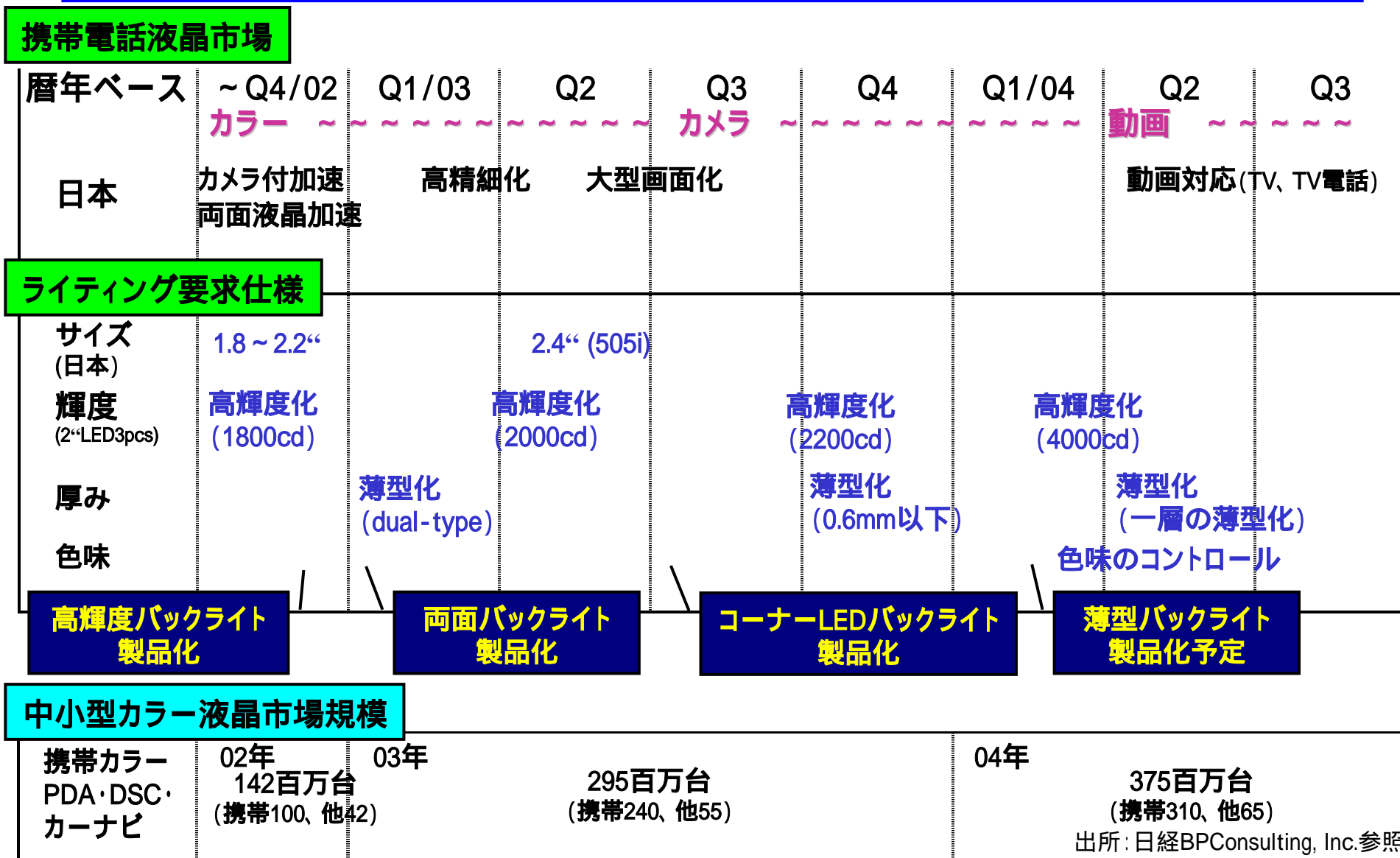


量産モデルでの大幅なコストダウンの達成へ。納期対応強化及び物流費の削減と合わせて競争力強化。高付加価値製品の製品開発力の強化も図り、キーボードのトップメーカーを目指す。

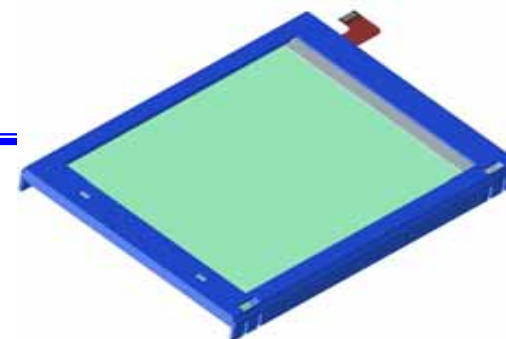
キーボード生産スケジュール



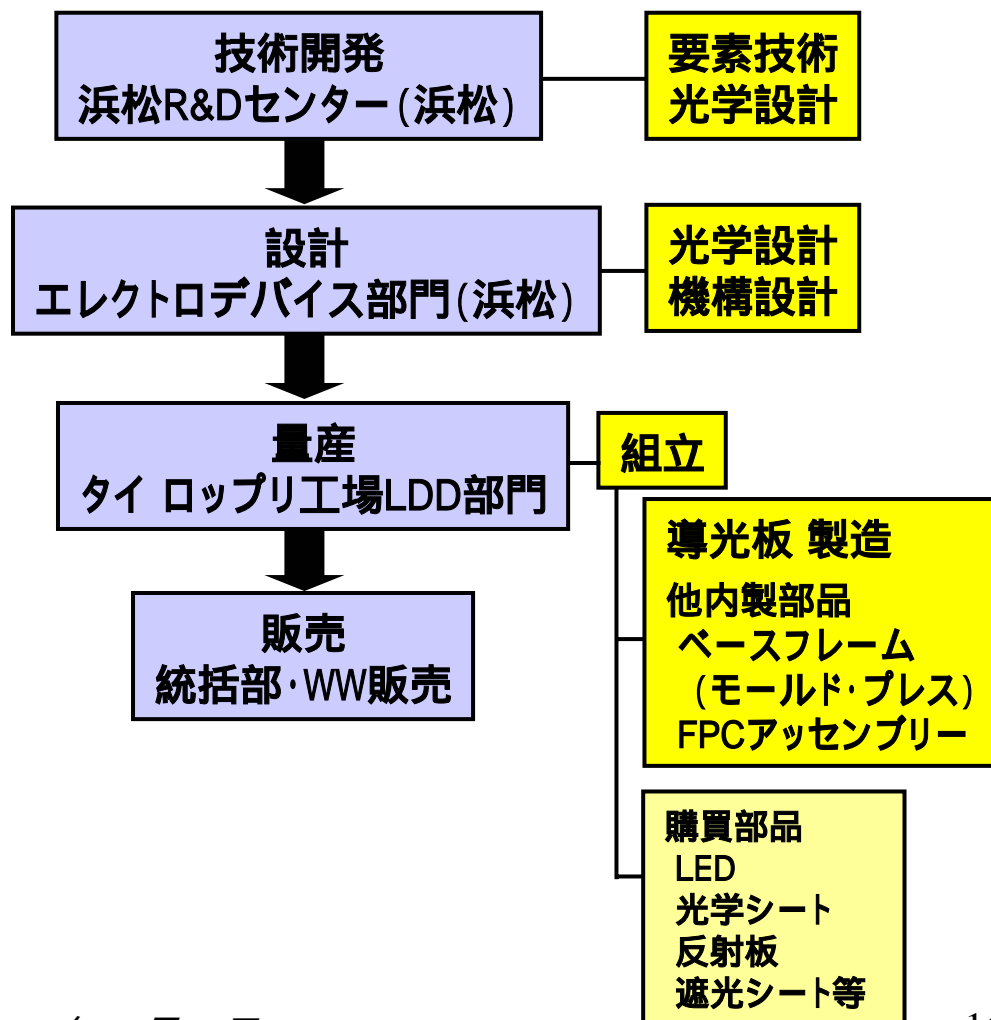
ライティングデバイス製品ロードマップ



ライティングデバイス事業体制

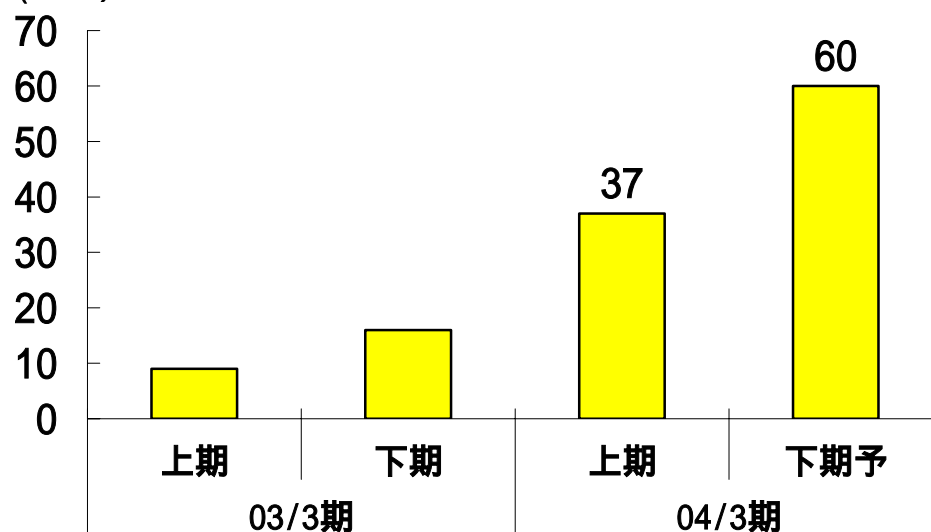


精密金型技術と一貫生産体制により
高性能・高品質・低価格を実現



ライティングデバイス売上高

(億円)



今期重点施策の進捗状況

施策6項目

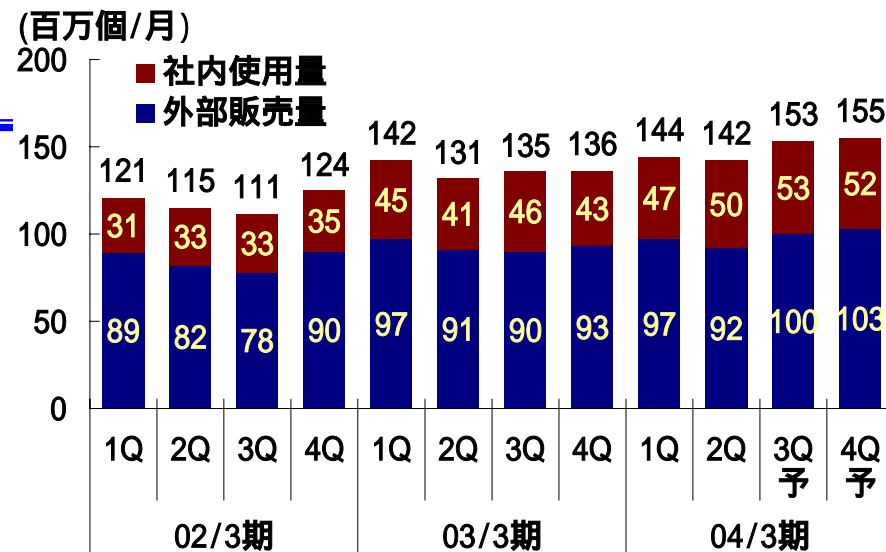
1. ボールベアリング事業の拡大及び強化
2. HDDスピンドルモーターの黒字化
3. ピボットアッセンブリーの採算性改善
4. その他の電子機器製品事業の収益性回復
5. ファンモーター事業の一層の拡大
6. 電源及び関連事業の終了

今期重点施策の進捗状況 ボールベアリング

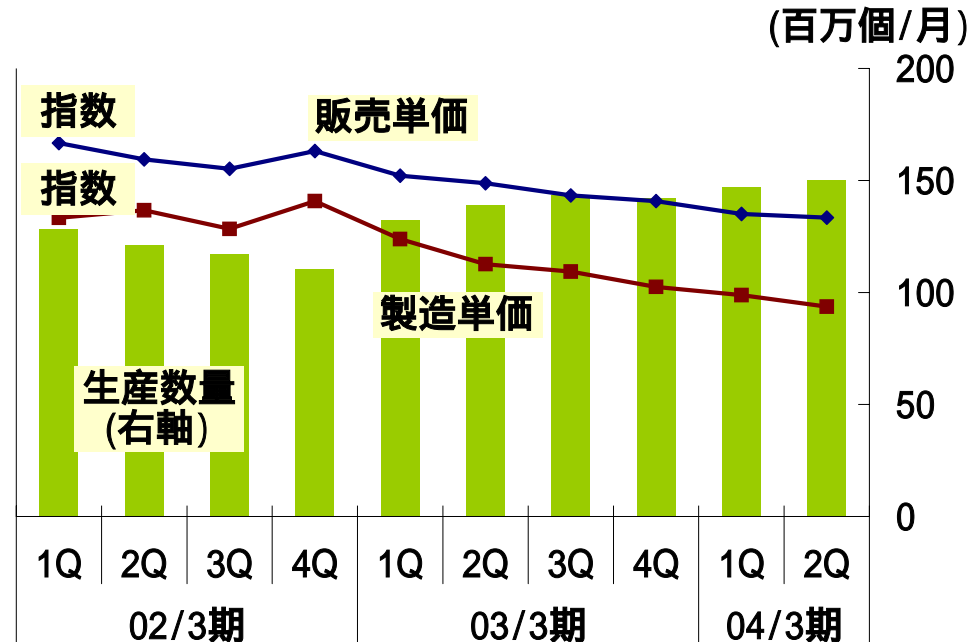
ミニチュア・小径ボールベアリング

- 2Qもコスト低減が進展。単価下落を吸収。
- 月1億8,000万個販売・生産に向けて拡販を推進。
- 下期は内販が引き続き増加。合わせて外販も増加。
- 月産3,000万個増産投資額は生産効率化の一層の進展により50億円を大幅に下回る見込み。増産投資は販売動向を見極めながら実施。

ミニチュア・小径ボールベアリング販売数量推移



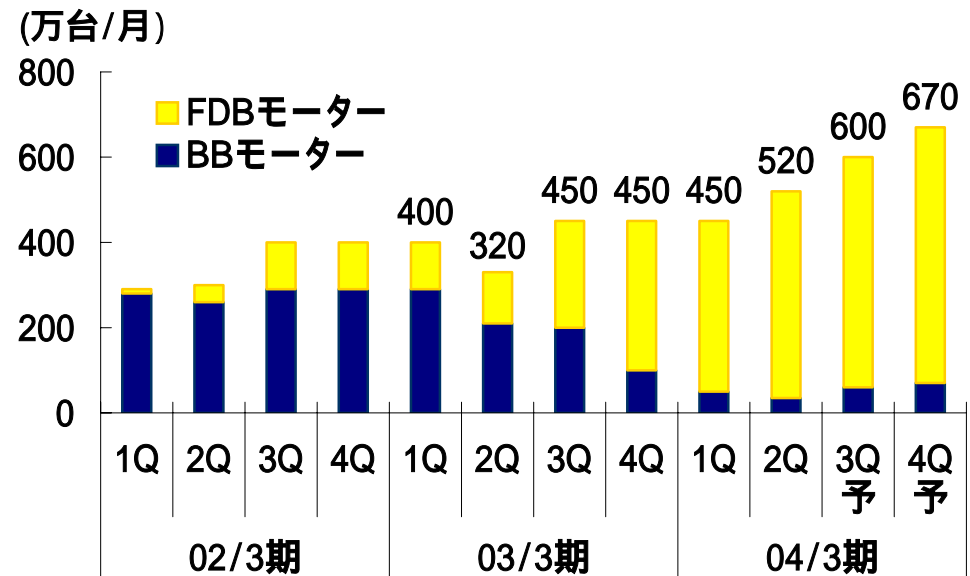
ミニチュア・小径ボールベアリング販売・製造単価推移



今期重点施策の進捗状況 HDDスピンドルモーター

- 03年9月に単月黒字化を達成。
下期、黒字安定化を目指す。
- 3Qは2Q比約15%増、月平均
600万台の販売を見込む。
1.8インチ向けBBモーターが
大幅増加の見込み。
- 2.5インチFDBモーターの開発は
進行中。
- 3Q中にドイツのモーター開発
子会社PMDMの増築に着手。

HDDスピンドルモーター販売数量推移



今期重点施策の進捗状況

その他の製品

◇ ピボットアッセンブリー

- 3Qの販売数量(一部内販を含む)は2Qからさらに約15%増加、月次1,700万台を越える見込み。ベアリングとのシナジー効果を追求。

◇ その他の電子機器製品

- ステッピングモーターやエレクトロデバイスの収益の底上げを2Qに確認、3Q以降一層の進展を見込む。
- ラइटニングデバイス事業が順調に拡大。8月以降黒字安定化。

◇ ファンモーター

- 3QはPC・サーバー向けに販売拡大の予定。

◇ 電源及び関連事業

- 今期末までの事業終了へ向けて進行中。生産は3Q末までに終了予定。

下期の見通し

➤ 10月以降の需要環境

- 景況感の改善。
- PC関連需要が好調。
- HDD需要は引き続き増加の見込み。
- 4QはPC向け以外は一層の需要拡大を見込む。

➤ 通期業績見込み

- 需要の回復が追い風だが為替変動の影響がマイナス。

売上高	期初予想 2,800億円	修正予想 2,750億円
営業利益	期初予想 210億円に変更なし	

2004年3月期通期業績見込み

(百万円)	2003/3期	----- 2004/3期 -----		伸び率 前年比	通期 期初計画	
	通期	上期 実績	下期 予想			通期 予想
売上高	272,202	133,741	141,259	275,000	+1.0%	280,000
営業利益	19,352	9,467	11,533	21,000	+8.5%	21,000
経常利益	13,420	7,558	9,442	17,000	+26.7%	17,000
税引前利益	495	6,299	9,701	16,000	32倍	16,000
純利益	2,434	2,726	5,774	8,500	-	8,500

通期セグメント別収益見込み

(百万円)	2003/3期	----- 2004/3期 -----		伸び率 前年比	通期		
	通期	上期実績	下期予想		通期予想	期初 計画	計画比
(売上高)							
機械加工品	118,117	55,665	59,335	115,000	-2.6%	115,000	100.0%
ベアリング関連製品	97,938	47,128	50,272	97,400	-0.5%	94,250	103.3%
その他機械加工品	20,180	8,538	9,062	17,600	-12.8%	20,750	84.8%
電子機器	154,084	78,076	81,924	160,000	+3.8%	165,000	97.0%
回転機器	79,188	43,642	46,058	89,700	+13.3%	95,100	94.3%
その他電子機器	74,897	34,435	35,865	70,300	-6.1%	69,900	100.6%
合計	272,202	133,741	141,259	275,000	+1.0%	280,000	98.2%
(営業利益)							
機械加工品	18,519	9,178	10,322	19,500	+5.3%	19,600	99.5%
電子機器	832	289	1,211	1,500	+80.3%	1,400	107.1%
合計	19,352	9,467	11,533	21,000	+8.5%	21,000	100.0%

ミネベア株式会社決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。